

## 大学生が考える自治会ってなに？

地域の一員である若者たちも「地域のつながりの大切さ」を感じています。自治会・町内会のことを考える活動を行っている市内の大学生 西岡さんと柴野さんに、自治会について聞いてみました。



▲大学生の皆さんたち(後列 左から2人目 西岡蘭さん、同3人目 柴野雅人さん)

### 自治会に関心をもったきっかけは？

大学入学と同時にコロナ禍となり、授業はすべてオンラインに。登校も遠出もままならない中、あらためて自分が住むまちについて考えたのが始まりです。地域の現状、たとえば独り暮らしのお年寄りが集まる機会や気軽に訪れる場所がなくて寂しい思いをしていることなどを知って、「ご近所さんの交流の場」の必要性を強く感じました。若い世代の一人として、そうした活動を行う自治会活動を盛り上げるために何かできないかと考えました。(柴野さん)



### 自治会についてどう思っていたか？

正直、以前はまったく関心がありませんでした。ただ、僕は市内で生まれ育ったのですが、小学生の頃、楽しかった子ども会の行事など地域の大人たち(自治会)ががんばってしてくれていた活動が今は少なくなったと聞いて、ショックを受けました。隣近所、顔も知らない、挨拶もしないような間柄では寂しすぎます。(柴野さん)

## 自治会の加入率を上げたい!と思って始めた取り組みは？

自治会を知るには、まず興味をもつことが先決。そこで、楽しく遊びながら自治会活動について学べる、すごろくスタイルのボードゲーム「ナンジチ?!」を制作しています。「なんする?!自治会長人生ゲーム」、略して「ナンジチ?!」です。

「防犯灯がほしい!」「ごみステーションが汚い!」「台風が直撃しそうだ!」など、すごろくのマスごとに発生する地域のお困りごとに対処する自治会長(参加者)の奮闘を通して、自治会の活動内容が自然と理解できる仕組みです。制作にあたって、市内の自治会長に何度も話を伺いました。

「ナンジチ?!」は、3月に小倉南区の市民センターで試作品のお披露目をしました。今後は親子で楽しむゲーム体験や小中学生にも遊びながら学んでもらうイベントを考えています。(西岡さん、柴野さん)



▲「ナンジチ?!」お披露目会

### 取り組みを通じての感想、将来への思い

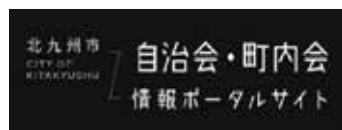
子どもの頃のように、活気に満ちた自治会がまた増えたらいいと思うようになりました。自治会活動を通じて地域のつながりが深まれば、誰もが自分のまちをもっと好きになれると思います。そのためにも、今後はもっと加入者が増えてほしいという思いがあります。大学卒業後も何らかの形で地域活動に関わっていきたいと考えています。(西岡さん、柴野さん)

## 自治会・町内会の活動をもっと詳しく知りたい

住みよいまちにするためにどのようなことに取り組んでいるか自治会や町内会の活動事例を知ることができます。

### 北九州市自治会・町内会情報ポータルサイト

自治会・町内会の活動紹介からお知らせまで、自治会・町内会に関する情報が分かるウェブサイトです。



自治会・町内会への加入の申し込みもできます▶



### 掲載記事の一例

#### 災害時に頼りになる自治会 ~ 牧山地区自治会の取り組み

居住区域の多くを傾斜地が占める牧山地区自治会(戸畑区)では、「みんなで防災」を合言葉に「自然災害犠牲者を出さない」取り組みを進めています。市から派遣された専門家と協同で危険箇所の情報収集と分析を行い、毎年、地域に情報提供しています。また、避難所が開設されると、不自由がないか、避難方法はどうかなどを尋ね、安心できる避難所運営を行っています。この取り組みが地域のつながりを再び深めているそうです。



### キタキュウ地域・人づくりチャンネル (YouTube)

地域の取り組みを発信し、魅力を伝える動画サイトです。

自治会・町内会や地域活動に関心を持っていただけるよう情報を発信しています。



▲動画の視聴はこちら

【この特集に関するお問い合わせ】市民文化スポーツ局 地域振興課 ☎582・2111